

データ活用を価値創造の源泉へ

● 企業やコンソーシアムが直面するDXの壁

多くの組織ではシステムや部門毎に情報が分断され、その価値を最大限に引き出せずにいます

データの分断がDXの障壁
だと考えるCIOの割合※

81%

データの分断

機器・システムごとに形式が異なり、統合分析が困難

ノウハウの属人化

貴重な知見が個人の管理下にあり、組織資産にならない

利用状況の不透明性

リソースの利用実態が把握できず、最適な投資判断ができない

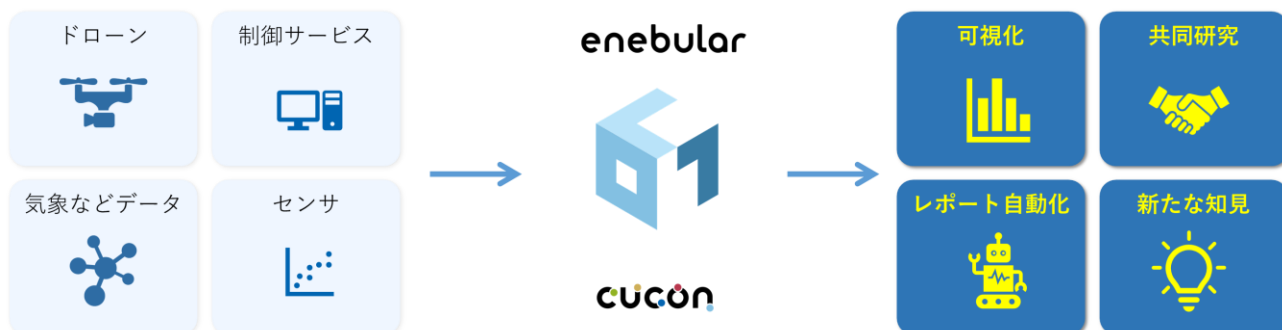
間接業務の負担

報告書作成のためのデータ収集・集計作業に多大な工数がかかる

※出典「85% of IT Leaders See AI Boosting Productivity, but Data Integration and Overwhelmed Teams Hinder Success」 (MuleSoft・2024)

● メーカーや規格の壁を超えるデータ連携ハブ

あらゆるデータを一元的に管理・活用できる「ハブ」を構築することが、価値創造の第一歩です



本件に関するお問い合わせ

株式会社ウフル 大阪オフィス

〒530-0011大阪府大阪市北区大深町1-1 LINKS UMEDA 8階 WeWork内

(担当: 中原 e-mail: jun.nakahara@uhuru.jp)



<https://uhuru.co.jp/>

● ウフルのソリューション

データを活用し、現場のニーズに応じたアプリケーションを迅速に構築可能です



多様なデータを組織横断で安全に連携・管理する
「守り」のデータ流通ハブ

★データ統合のための基盤

一貫したデータを作るため、様々な部門・システムのデータを一つにまとめることが可能

★データガバナンスの強化

企業・組織間の安全なデータ連携を実現

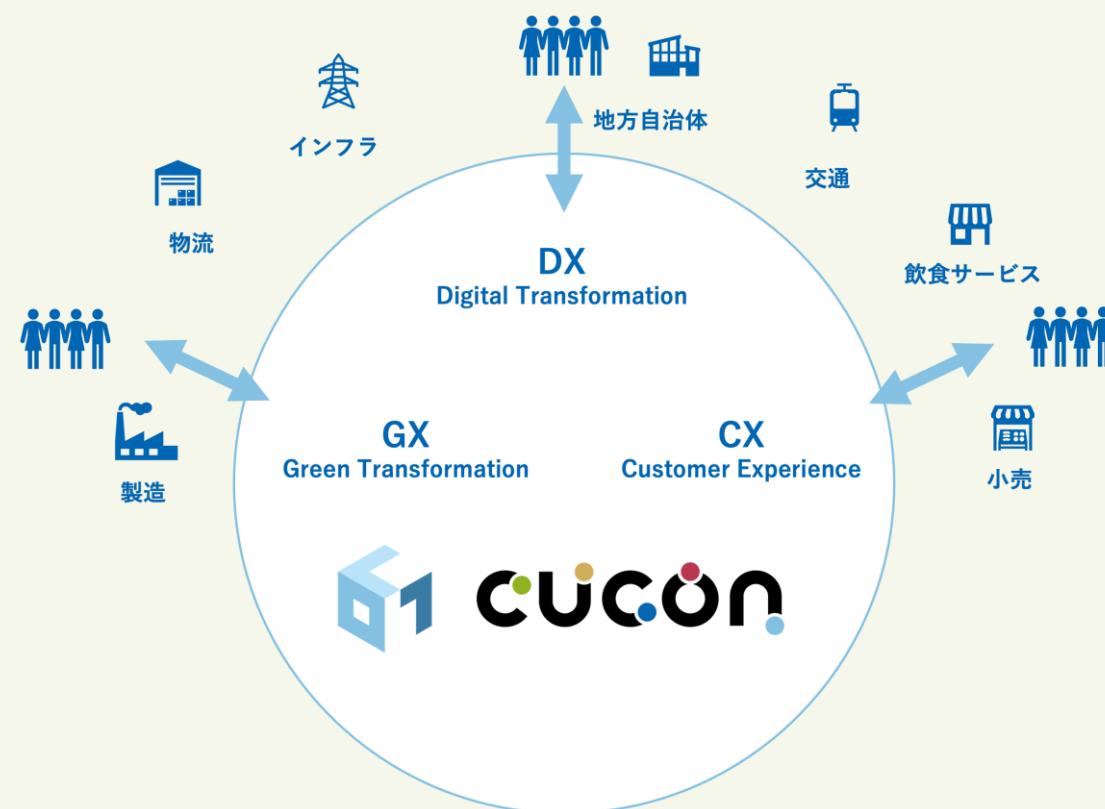
高付加価値サービスを迅速に開発する
「攻め」のローコード開発実行環境

★ローコード開発

Node-REDベースの開発でサービスを高速実装

★パッケージ化による高い再利用性

パッケージ化により開発効率を高め、イノベーションを加速



**小規模なMVP開発やPoCから、大規模開発まで
お気軽にご相談ください**

ドローン利活用プラットフォーム